

COVAXワクチン・サミット（令和3年6月2日）
菅総理プレッジ・ステートメント

冒頭

御出席の皆様、今こそ、行動を起こしていく時であります。
私は、目標の達成に向けて団結する国際社会の努力をけん引して
いく決意です。

追加資金拠出および現物供給

我が国は、これまでも、COVAXファシリティの形成をリードし、
世界でも最初に拠出し、これまでに額にして2億ドルを
拠出してまいりました。

そして、本日、更なる貢献を行うべく、今後8億ドルを追加拠
出し、コバックス・ファシリティに対し、合計10億ドルの貢
献を行うことを表明いたします。

これは、資金ギャップを埋めるために必要な額の大半を占め
る、かつてない規模の貢献です。

加えて、変異株の拡大やワクチン供給の遅れといった厳しい現
状を踏まえ、環境が整えば、しかるべき時期に、我が国で製造
するワクチンを3000万回分を目途として、COVAXなど
を通じ、各国・地域に対して供給を行っていく考えです。

ワクチンという希望を、世界中の一人でも多くの方々に、一早
く、そして、公平に、お届けしたい。こうした思いで、私は、
決断いたしました。

その他の支援策

さらに、我が国は、昨日、策定した国家戦略に基づき、ワクチ
ンの評価手法に関する国際的なコンセンサスの形成を進めなが
ら、官民一丸となって、国内での新型コロナ ワクチンの開
発・生産に取り組み、将来的には、世界への供給も行っていく

考えです。

この戦略では、新たな感染症への備えとして、革新的なワクチンの研究開発や人材育成などを通じた国際的な治験環境の整備も進めていきます。

これまでの保健・医療関連の支援で培った強みを活かしながら、必要なワクチンを世界中、一人ひとりに届けるため、ワールドチェーンの整備などの「ラスト・ワン・マイル支援」も引き続き進めてまいります。

これらの重層的な取組を通じ、途上国をはじめ世界のニーズに応えながら、安全で、効果的なワクチンへの公平なアクセスを加速させてまいります。

結語：各国への呼びかけ

御出席の皆様、我々が目指す、「18億回、途上国の人口30%分」のワクチン供給という大きな目標は、一国で成し遂げることはできません。

連帯の証として、支援の輪が広がっていくことを期待いたします。

御清聴、ありがとうございました。